



2025年2月13日

各 位

会 社 名 t r i p l a 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 CEO 高 橋 和 久  
代 表 取 締 役 CTO 鳥 生 格  
(コード番号：5136 東証グロース市場)  
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 C F O 岡 義 人  
TEL. 03-6276-6553

### アメリカ子会社及び香港子会社の設立完了に関するお知らせ

当社は、2024年12月16日付「香港子会社設立に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、下記のとおり、アメリカ及び香港の子会社の設立が完了しましたことをお知らせいたします。なお、当該案件は適時開示基準に該当しませんが、有用な情報と判断し任意開示を行うものであります。

#### 1. 子会社の設立の目的

当社は宿泊施設向けのITサービスとして、予約エンジンである「tripla Book」を中心に、AIチャットボット「tripla Bot」、CRM・MA(注1)サービス「tripla Connect」等を提供しています。これらのサービスの提供を通じて、宿泊業界のDX(Digital Transformation)を進めて参ります。今後の成長の方向性として、既存サービスや新サービスの拡販を通じた収益の拡大、個々のサービスの収益性の向上、また、海外への事業拡大を目標としています。

当社グループの最大の収益の柱である tripla Book は、施設あたりの月額固定課金による固定収益、宿泊従量課金による従量収益、及び決済従量課金による従量収益の3つの課金体系から構成されております。このうち、決済従量課金による従量収益について、2025年10月期においても引き続き、原価低減による take rate(注2)の改善、及びNet 収益の増加を目指し、2024年12月16日付「香港子会社設立に関するお知らせ」にて、香港子会社の設立の決定及びアメリカ子会社の設立の検討を進める旨を公表いたしました。その後、2025年1月30日公表の有価証券報告書に記載しました香港子会社の設立完了に続き、アメリカ子会社についても設立完了となりましたことをお知らせいたします。当該子会社設立の目的は決済従量課金による従量収益の改善を図ることであり、グループ横断的にオペレーションを構築して参ります。

(注)1. CRM・MA：CRMはCustomer Relationship Managementの略称で、顧客管理のソフトウェアです。tripla Connectにおいては宿泊施設によるユーザーの情報を管理します。MAはMarketing Automationの略称で、マーケティング活動の自動化・効率化を実現するソフトウェアです。

2. 宿泊従量課金による収益と決済従量課金による収益の合計をGMV(注3)で除したものを。

3. Gross Merchandise Valueの略称。tripla Book上での宿泊代金の取扱高総額。

#### 2. 子会社の概要

##### ①香港子会社

(1)	名 称	tripla Hong Kong Limited
(2)	所 在 地	Room 815, 8/F, Star House, 3 Salisbury Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong
(3)	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 CEO 高橋 和久
(4)	事 業 内 容	宿泊施設向けインターネットサービスの開発・運営
(5)	資 本 金	500,000HKD
(6)	設 立 年 月	2024年12月27日
(7)	大 株 主 及 び 持 株 比 率	当社：100%

(注) 1. 2025年1月30日付有価証券報告書に記載済

##### ②アメリカ子会社

(1)	名 称	tripla USA, Inc.
(2)	所 在 地	580 CALIFORNIA ST STE 1200, SAN FRANCISCO, CA, 94104-1071,

		UNITED STATES
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 高橋 和久
(4)	事業内容	宿泊施設向けインターネットサービスの開発・運営
(5)	資本金	70,000USD
(6)	設立年月	2025年2月8日
(7)	大株主及び持株比率	当社：100%

### 3. 今後の見通し

当該子会社の設立が当社の2025年10月期連結業績に与える影響は軽微であり、現時点では当該子会社設立による連結業績の見通しの修正は行いません。今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上